

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	情報公開関係経費			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	町民・事業者	目的	町民の知る権利を尊重し、町政に対する理解と信頼を深めるとともに、町政資料の管理・保存を推進し、効率的な行政運営を図る。			
事業概要	情報公開に必要な文書管理・保存を総合的に推進するとともに、行政資料の集約により効率的な運営を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	02	大事業 0003 情報公開関係経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		490		406	400	553
	概算人件費		399		401	417	417
	トータルコスト		889		807	817	970
	国庫/県支出金		0		0	0	
	その他		0		0	0	
R3概算人件費	正規職員			0.09人		417千円	
	再任用職員			0人		千円	
	会計年度任用職員			0人		千円	
	その他			0人		千円	
	合計					417千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.81	3.18
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 情報公開制度に関しては適切に運用できている。
 文書管理や文書の電子化などデジタル化に向けた検討が必要となる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	職員育成推進事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	職員	目的	人材育成方針に基づき効果的な行政運営を行うため、適切な人事評価及び研修計画に基づいた研修を実施し、職員育成を推進する。			
事業概要	人災育成基本方針に基づいた研修計画により、派遣研修を行い、職員の意識改革と能力向上を図る。また、健康管理研修や人事評価研修、働き方改革研修など、町独自の研修を行い、知識と理解を深め、効率的な行政運営を推進する。					

事業予算						
会計	款項目		大事業			
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算額	R4決算見込	
直接事業費	概算人件費	0	660	857	985	
	トータルコスト	1,024	1,207	1,094	1,094	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.33人		1,094千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,094千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 職員の研修等の延べ参加人数（人）	770 (平成30年度実績)	640	490	500	770
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 職員の能力の向上	4.09	2.78
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 市町村研修センターの研修がコロナ禍において、縮小されているものの、できる限り受講を促し、参加を呼び掛けた。町の独自研修はサテライト方式等を採用することで予定通り実施できた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	人事評価制度導入事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	職員	目的	人材育成基本方針に基づき、適切な人事評価を通して、職員の意識改革を図り、積極的に課題に取り組むことができる職員の育成を推進する。			
事業概要	人材育成基本方針に基づき、人事評価制度を運用し、適切な評価を行うことで、職員の意欲向上や意識改革、創意工夫などを促し、効率的な行政運営を推進する。					

事業予算						
会計	款項目		大事業			
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算額	R4決算見込	
直接事業費	概算人件費	0	0	0	0	
	トータルコスト	228	727	248	248	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.05 人		248 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			248 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 人事評価の平均点数（点）	33.1 (平成30年度実績)	33.8	33.8	34.1	
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 職員の能力の向上	4.09	2.78
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 人事評価を通じて職員間のコミュニケーションは図られている。今後は昇給や昇格に反映できる制度改正が必要。
 ※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ガラスのうさぎ像平和と友情推進事業			所管課	総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	平和に関する事業を実施することで、平和に対する意識の高揚を図る。			
事業概要	町の平和と友情のシンボルである「ガラスのうさぎ像」建立の精神を引き継ぐとともに、平和への関心を高めるため、うさぎ像平和と友情のつどいを開催する。また、千羽鶴の飾りつけを行う。					

事業予算						
会計	款項目		大事業			
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算額	R4決算見込	
直接事業費		157	25	50	519	
概算人件費		725	234	677	677	
トータルコスト		882	259	727	1,196	
国庫/県支出金		0	0	0		
その他		0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.15人		677千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			677千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい参加者数（人）	500	500	コロナに伴い中止	250	500
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	人権・平和の推進	3.71	2.98
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い ←————→ 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	□	■	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	□	■	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	町独自の平和事業であり、次世代に平和の尊さを伝えるとともに、事業の理念を継承していく必要がある。コロナ禍において事業手法の検討は必要であるが、事業は引き続き継続していく。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			